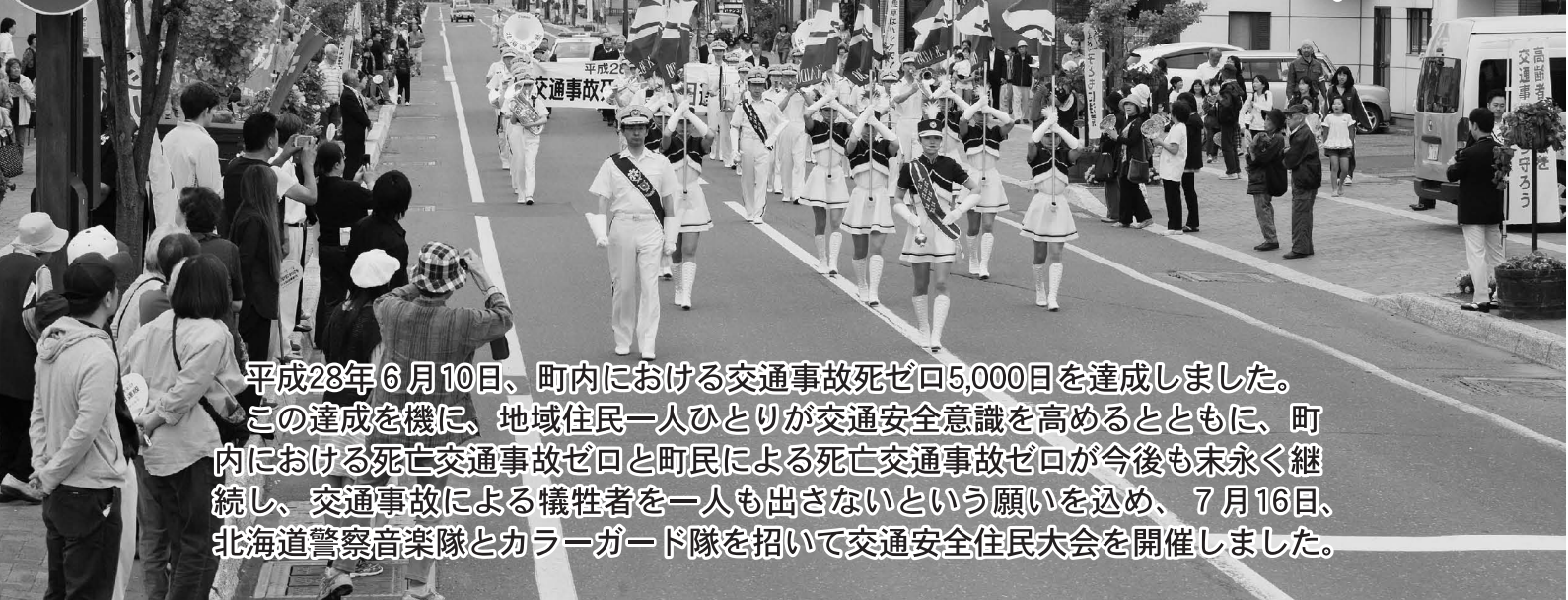


交通事故死ゼロ5000日達成

置戸町交通安全住民大会



平成28年6月10日、町内における交通事故死ゼロ5,000日を達成しました。この達成を機に、地域住民一人ひとりが交通安全意識を高めるとともに、町内における死亡交通事故ゼロと町民による死亡交通事故ゼロが今後も末永く継続し、交通事故による犠牲者を一人も出さないという願いを込め、7月16日、北海道警察音楽隊とカラーガード隊を招いて交通安全住民大会を開催しました。

交通安全住民大会は置戸町交通安全推進委員会と置戸町交通安全協会の主催で開催され、北海道警察音楽隊とカラーガード隊を先頭に、町交通安全推進委員会会長の井上久男町長、菅原治司町交通安全協会会長、根布谷禎一オホーツク総合振興局局長、小南一盛北海道警察北見方面本部本部長、山本勲名誉町民、佐藤純一町議会議長、交通安全指導員ほか関係者が役場前からぼっぼ前交差点までを音楽隊の演奏にあわせ行進。その後、会場をイベント広場に移し町民500人が集まりました。

大会に先立ち、不幸にも交通事故に遭われた方々に参加者全員で黙祷を捧げ、主催者挨拶で井上久男町長は「交通事故死ゼロ5,000日を達成は、交通安全にご理解とご協力を戴いている町民の皆さまのお陰であり、また、交通安全運動に携わっている多くの関係者の皆さまのご指導、ご努力の賜物です。この5,000日達成を新たな始まりとして、町内における死亡交通事故ゼロが末永く継続し、交通事故による犠牲者を一人も出さない安心安全で町民みんなの笑顔がかがやく置戸町を目指し、町民の皆さんと一丸となって、交通安全の推進に取り組んでいきたい」と挨拶。

続いて菅原治司町交通安全協会会長は「こどもセンターどんぐりをはじめ、小学校、中学校、高校、老人クラブでの交通安全教室の開催や交通安全運動期間にあわせた事業所訪問。交通安全家庭新聞の全戸配布。特に各地区自治連合会、女性会



置戸小学校交通安全教室の様子(平成27年)



事業所訪問(平成27年)



交通安全協会街頭啓発